

主催：奈良県（平城京歴史館）

平城京歴史館スペシャルウインター2016

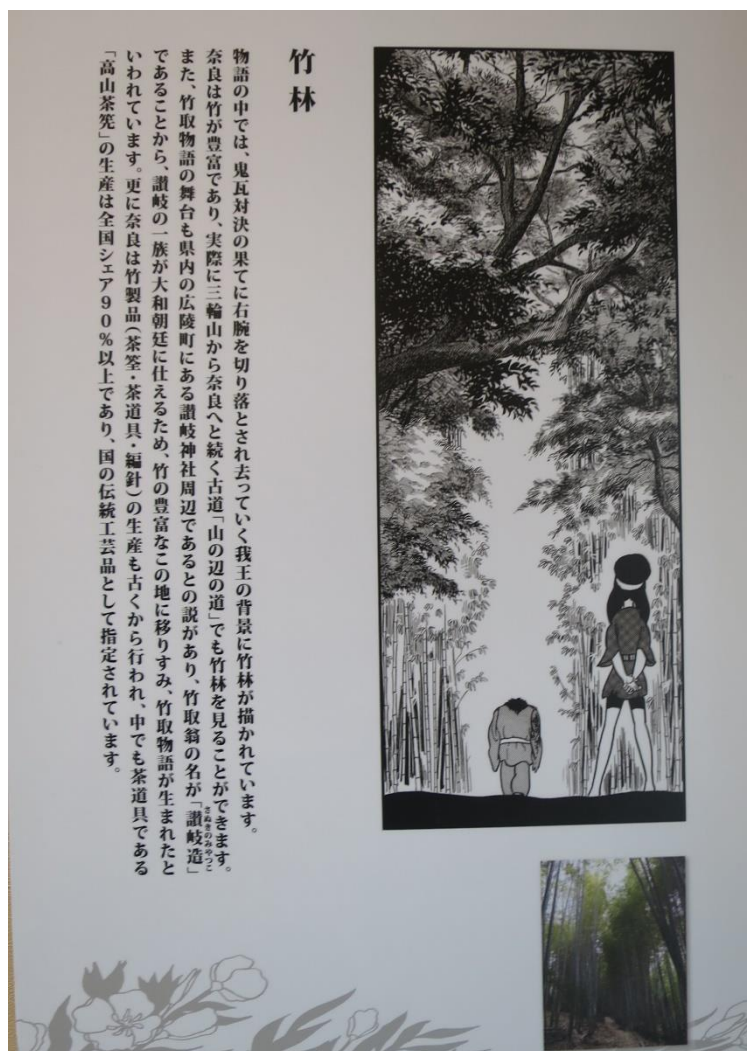
「奈良と火の鳥」～手塚治虫が描いたやまと～

平成28年(2016)1月26日～3月6日

於：平城京歴史館

平城京歴史館では、マンガ家 手塚治虫の代表作のひとつ「火の鳥」から奈良時代が描かれた原画等を展示します。

「火の鳥」を題材にした企画展は、奈良県内で初めての開催です。



山辺の道北部
昭和50年
写真：
厚見昌彦氏

竹林（展示物より）

物語の中では、鬼瓦対決の果てに右腕を切り落とされ去っていく我王の背景に竹林が描かれています。奈良は竹が豊富であり、実際に三輪山から奈良へと続く古道「山の辺の道」でも竹林を見ることができます。また、竹取物語の舞台も県内の広陵町にある讃岐神社周辺であるとの説があり、竹取翁の名が「讃岐造」であることから、讃岐の一族が大和朝廷に仕えるため、竹の豊富なこの地に移りすみ、竹取物語が生まれたといわれています。更に奈良は竹製品（茶釜・茶道具・編針）の生産も古くから行われ、中でも茶道具である「高山茶筴」の生産は全国シェア90%以上であり、国の伝統工芸品として指定されています。